

田中拉致問題担当大臣記者会見要旨

【拉致問題関連部分抜粋】

(平成24年10月9日(火) 10:46～10:54 於：法務省19階記者会見室)

1. 発言要旨

おはようございます。

今日、閣議が行われましたが、閣議では法務省関係の案件、及び拉致問題に関する案件はございませんでした。

以上でございますが、人事関係の問題等々が若干ありましたが、これもまた直接この法務、拉致に関係する案件ではなかったということも申し添えておきたいと思います。

それでは、皆さんから質問を受けたいと思います。どうぞ。

2. 質疑応答

(問) 拉致問題について伺いたいんですけれども、金曜日の日にご家族と会われて、改めてどういったことを感じられたのかという点と、既に献金問題が言われているんですけれども、また大臣が替わってしまうんじゃないかという心配が家族の中にも出かねないと思うんですが、そういった事態を招いていることについて、どのようにお考えか、意見をお伺いします。

(答) まず、この5日の日、あるいは7日、8日ともに集会に出させていただきます。そういう中で、横田さんご夫妻だけではなく、関係者の皆さん方の気持ちもしっかりと受けとめて、一日も早い解決をしていかなければいけないと思っております。

もう10年、あの平壤の宣言から10年経ったわけでありまして、その間、皆さんもご承知のように課長級会議がやっと開かれたわけでありまして、また局長級会議等々についてもできるだけ早く開いていただけるように私のほうからも問題提起をさせていただきたいと思っております。

いずれにしても、一日も早く、時間との戦いでありまして、一日も早くしないとけないと思っております。もう既にご家族の皆様は大変高齢の皆さんでありますから、このこともしっかり対応していかなければならないと、こう思っております。

献金問題については今までも述べましたとおりでありますので、これは私自身しっかりと、この問題を法務の問題、拉致問題、十分与えられた仕事として全うしていきたいと、こう思っております。

(以 上)